

平成 24 年 度
学校の総合マネジメント力強化セミナー

今、求められる学校マネジメント



平成25年2月1日（金） 13:30 ~ 14:20
文部科学省 東館3階講堂

小松 郁夫

玉川大学教職大学院教授

文部科学省初等中等教育局視学委員

前・国立教育政策研究所 教育政策・評価研究部長

今、学校に求められているもの

- 学校を**安全で安心**できる場所として守る
- より**質の高い**学校教育の保障
- 教職員の**職能成長**を実現できる

新しい学校像と「評価の時代」

- 目的は「**公教育の質の向上**」
- **組織改革**のための学校評価
- **戦略的思考**の重要性



新たな連携（「公共性」）のもとに創造

- * 「登校」、「下校」する学校の高さ＜秘密の花園＞
から
地域と共にある「学校」への進化

改正教育基本法の趣旨

- **教育基本法第13条**（学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力）
学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育における**それぞれの役割と責任**を自覚するとともに、**相互の連携及び協力**に努めるものとする。
- **第10条**（家庭教育）
父母その他の保護者は、子の教育について**第一義的責任を有するもの**であって、**生活のために必要な習慣**を身に付けさせるとともに、**自立心を育成し、心身の調和のとれた発達**を図るよう努めるものとする。
2 国及び地方公共団体は、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の**家庭教育を支援**するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。

コミュニティ・スクールの歴史的経緯

• 地域社会の変貌と教育改革

- (1) 「米百俵」「竈金」と教育・子育て・・・現世代と次世代の関係
- (2) 地域づくり、地域の再興・・・社会開発
- (3) 伝承と発展・・・新しい教育機能の創造

• 諸外国の事例

- * アメリカ・・・世界恐慌後の地域復興と人づくり(1930年代)
- * 戦後日本・・・地域と結ぶ「地域社会学校」(1950年代)
現代日本・・・多様化する教育要求への対応と連携・協力の強化
- * 英国・・・学校理事会制度、保護者・地域住民が関わる公立学校の管理運営

今、学校は？

• 時代の最後尾を歩んでいないか

これまでの日本の歴史では

- 明治初期のモダンの学校建築、文明開化の先頭を切っていた学校
- 民主主義の開拓者としての戦後の学校

未来の学校像を描こう！！！！







your favourite trips,



up	Main Meal	Vegetarian	Pasta	Vegetables	Panini	Pudding
otato ed with read	Carvery meats with trimmings & Yorkshire puddings	Roast veggie Lasagne with garlic slice	Pasta with tomato sauce	Roast pots Carrots Swede sprouts	None today	Creamy Rice pudding & jam sauce

教育振興基本計画〈施策の基本的方向〉

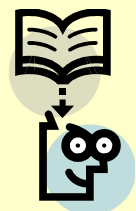
(平成20年7月1日 閣議決定)

• 基本的方向2:

個性を尊重しつつ能力を伸ばし、個人として、社会の一員として生きる基盤を育てる

④ 教育委員会の機能を強化するとともに、学校の組織運営体制を確立する

- ◇ 教育委員会の責任体制の明確化
- ◇ 市町村への権限の委譲
- ◇ **新しい職の設置等による学校の組織運営の改善**
- ◇ **学校評価の推進とその結果に基づく学校運営の改善**
- ◇ 家庭・地域と一体になった学校の活性化



戦略的教育改革の志向

学習指導要領の改訂・学校評価・学校組織改革・教員改革

- (1) 学校評価(自己評価)の義務化
- (2) 副校長、主幹教諭、指導教諭の職の新設
↓
学校組織マネジメントの活用
- (3) 個人及び組織の一員としての教師力の向上

地域と共にある学校(コミュニティ・スクール)

- 学校以外の役割の発見
 - 安全教育、地域的行事、キャリア教育 など
- 協働による新しい教育
 - 学力向上の活動・・・学習支援と家庭学習の充実
 - 専門性の充実・・・さまざまな専門的知見の活用
 - 特別支援教育の充実・・・保護者や地域住民との協働による支援
- 学校評価等による新しい管理運営システムの開発
 - 「秘密の花園」から「開かれた学校」へ
 - **学校関係者評価の充実**
 - 学校の説明能力の向上と科学的・合理的な学校づくり

具体的な連携活動－学校支援 ボランティア活動

・ 学習支援

- ・ 教科学習における支援、担任の補助
- ・ 特別支援を要する児童の支援
- ・ 教材の準備
- ・ 校外学習の引率
- ・ 図書を読み聞かせ

・ 環境整備・安全

- ・ 図書室の整備
- ・ 資料室、特別室の整備
- ・ 学校園、樹木の整備
- ・ 学校のHPの作成
- ・ 児童の登下校の安全管理
- ・ 校内の不審者対応

具体的な連携活動－学校支援 ボランティア活動

・ 専門的教育支援

- ・ 総合的な学習の時間等での講師的役割
- ・ 理科、家庭科、体育等での専門的技術の教授
- ・ 校内研修における講師的役割(専門知識の教授)

・ 文化・スポーツ行事

- ・ クラブ活動の支援
- ・ 学校行事における支援
- ・ 保護者、地域住民参加型行事の運営
- ・ 土曜教室、サマースクールの講師的役割
- ・ 学校と社会教育施設のコーディネーター

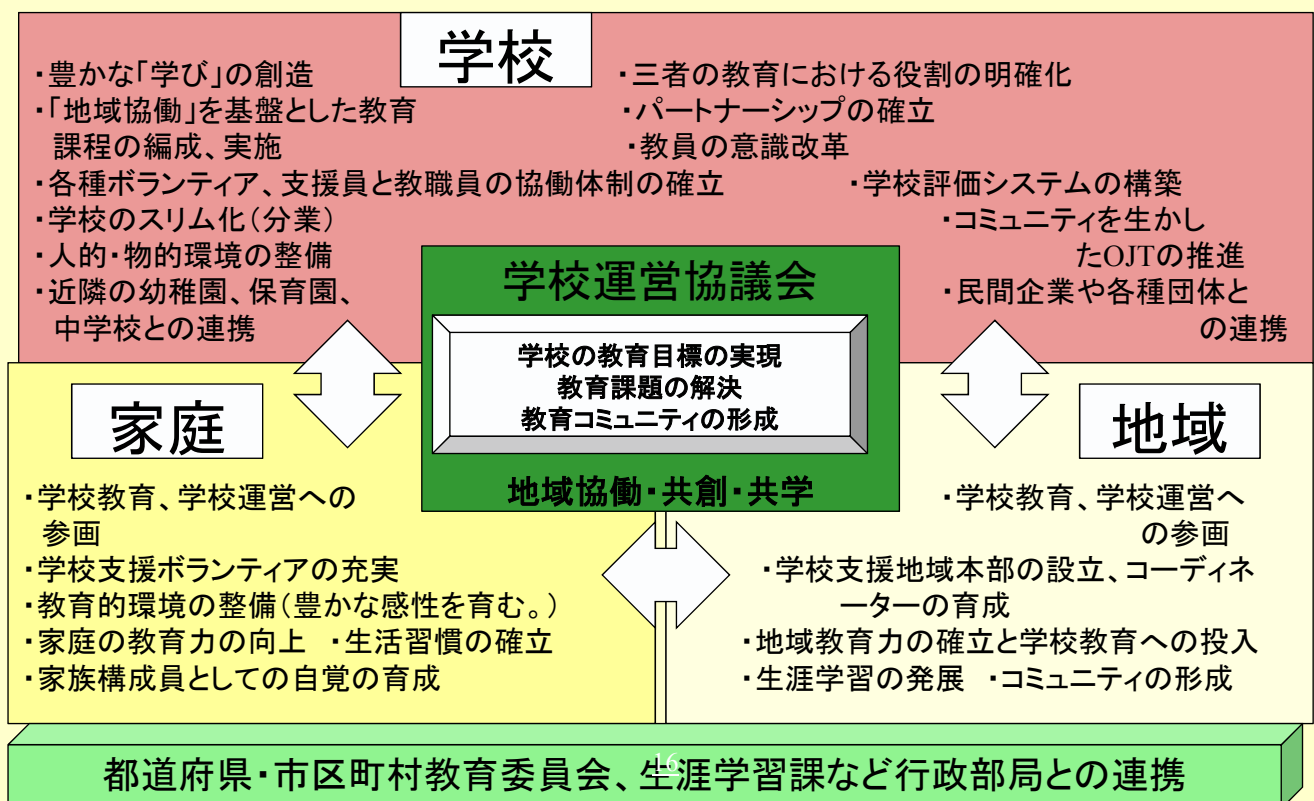
コミュニティ・スクールの意義と課題

- 意義**
- ・ 教員の主体性や創造性の伸長
 - ・ 地域協働による相乗効果
 - ・ 児童の多面的理解(360度の子ども理解)
 - ・ 学校の活性化

- 課題**
- ・ 連携のための時間の創出(ますます多忙になる?)
 - ・ 保護者や地域住民との考えの相違(違って当然)
 - ・ 広域に発展する地域連携の在り方(9年教育)
 - ・ 家庭と地域の役割分担(協働分担領域の確認)

新しい学校運営の創造

～パートナーシップの理念に立って～



新しい学校経営と「評価」改革

- 「学校運営」から「学校経営」への時代
- 「評価」は組織の改善や改革に生かして
- 人が育つ組織、学習する組織への進化

マネジメント

- * 戦略・目標設定
- * 効果的な実行
- * 成果検証

なぜ学校評価なのか？？？

1. 効率的で効果的な学校づくり

法令準拠の学校 → 優れた学校、成果が上がっている学校

2. 公的機関としての責任の明確化

説明責任Accountabilityの要請、新しい学力観の保障

3. 関係諸機関や関係者との連携、協働

保護者／地域住民との連携、地域とともにある学校

学校評価が諸悪の根源？？？

- 教職員の多忙は評価が重視されてから？
膨張する業務 → 組織的対応が出来ていないからでは？
- 評価は格付けをし、競争をあおる？
学習評価も学校評価も教職員の職能成長に資するため
- 元気が出ない、落ち込むだけの評価？
良さの発見と成果をさらに伸ばすための評価、見通しが出来る評価

学校の経営力を高める

